WarwickおよびRockBass Alienアコースティック・ベース・ギター取扱説明書

JAPANESE

オーナーの方へ

この度は、新しいAlienアコースティック・ベース・ギターのご購入、おめでとうございます。
　Warwickで働くすべての仲間たちの創意工夫や冒険心、数え切れないほど多くの技術革新、最先端の技術、倦むことのない献身的精神は、世界中の熱心なファンの皆さんから高く評価していただいており、彼らは他の多くのメーカーの手本にもなっています。WarwickおよびRockBass Alienアコースティック・ベース・ギターもこの伝統に則って製造されており、世界中のミュージシャンにお求めやすい価格で高い品質の楽器を提供しています。
　今日すでに、Warwickのデザインは模範とされるようになっており、Alienアコースティック・ベース・ギターのどのモデルにも革新性と現代性が盛り込まれています。
　私たちの製品に満足していただいているオーナーの方々の存在や、会社の世界的な成功は、Warwickの哲学が正しい方向性を持っていることを証明しています。私たちの成功にとってもっとも大切なのは、オーナーの方々です。なぜなら、オーナーの方々は、望みうる最高の製品と、望みうる最高のカスタマー・サービスのためにお金を出してくださっているからです。
　私たちは、あなたが新たに購入なさったAlienアコースティック・ベース・ギターで大いに楽しんでいただけるように願っております。

ハンス・ペーター・ヴィルファー

Hans-Peter Wilfer

目次

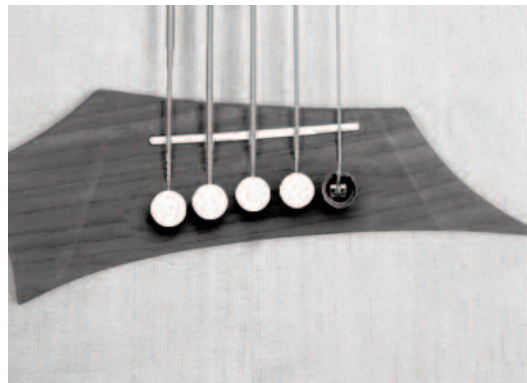
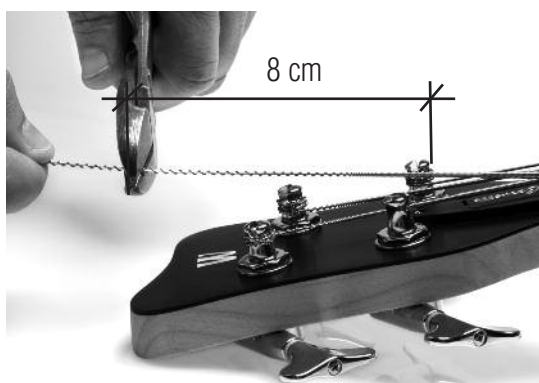
1) ペグ——弦の張り方／チューニングの手順

ペグ：
すべてのAlienアコースティック・ベース・ギターは、高品質で精密なペグを装備しています（ギア比20：1）。Warwickのペグは自己潤滑性のギアを密封したタイプで、チューニングの安定性が高く、メインテナンスの必要がありません。

ペグは操作性を高めるために、ツマミがプレイヤーの方を向くようにして取り付けられています。

ペグの回転トルクは、ドライバーで調節できます。

弦の張り方 / チューニングの手順

ブリッジのストリング・ホルダーに弦のボール・エンドを引っかけます。片方の手でボール・エンドを押さえたまま、もう片方の手で弦をペグに引っかけます。

RockBass Alienには、溝のあるブリッジ・ピンが付いています。弦にテンションがかかっていないことを確認してから、ブリッジ・ピンを抜きます。新しい弦のボール・エンドをブリッジの穴に入れ、ブリッジ・ピンの溝が弦のある方を向くようにして、ブリッジ・ピンを挿入します。

ペグの位置から8cmほど余分な長さのところで弦を切ります。ペグのポストに弦を巻きつけるので、この程度の長さの余裕が必要になります。

ペグのポストには溝が切ってあり、中央には穴が開いています。弦を巻きつける前に、この穴に弦の先端を差し込みます。この方式だとポストの横から弦がはみ出さず、巻きが乱れることもないので、チューニングが安定します。

弦を引っ張りながら、ポストに巻きつけます。こうすると弦がすべらず、チューニングの安定性が高まります。

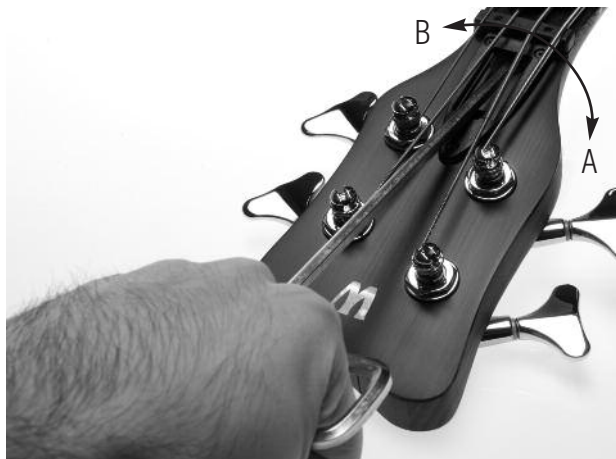
チューニングのしやすさと安定性を確保するには、弦がポストに2〜4回程度巻きつくぐらいが理想です。

2) トラスロッド・カバー／トラスロッドの調節

トラスロッド・カバー：

Alienアコースティック・ベース・ギターのトラスロッド・カバーは、必要な時、すぐにトラスロッドを調節できる仕組みになっています。カバーのロック機構は、マイナス・ドライバー1本で解除できます。

トラスロッドの調節：

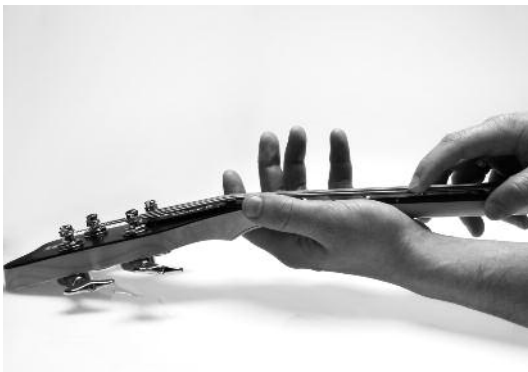
正しく調整されたネックは、ほんのわずか順反りしています。ネックの状態を確認するには、最低音弦の1フレットと最終フレットを同時に押さえて、7フレットのところでフレットと弦の距離を確認します。その距離が0.6〜1mmの範囲内にあれば正常です。この値は、各弦のアクション（弦高）とは無関係です

トラスロッド・キーを時計方向（A方向）に回すと、トラスロッドが締まってネックが逆反りになり、トラスロッド・キーを反時計方向（B方向）に回すと、トラスロッドが緩んでネックが順反りになります。トラスロッドを回した効果はすぐには表れないので、この調節は少しずつ段階に分けて行うようにしてください。効果は調節から1時間ほど経ってから確認し、翌日もういちど確認するのが良いでしょう。その時に必要があれば、ふたたびトラスロッドを調節します。

湿度が変化した時、とくに季節の変わり目や天候の変化が激しい時などには、ネックの状態を確認し、必要に応じてトラスロッドを調節してください。

3) ナット／ブリッジ

ナット：
すべてのAlienアコースティック・ベース・ギターには、最高のトーンが得られ、微調整が効き、安定性の高いハイテク素材で作られたJust A Nut IIIが標準装備されています。

ナット位置の弦高調整には、付属の1.5mmの六角レンチを使用します。

調整**のコツ**：

3フレットの位置で弦を押さえます。

1フレットと弦の距離を確認します。この距離が、名刺1枚の厚さに相当する0.3mmを超えないようにしてください。

4) 弦

Warwickおよび**RockBass Alien**アコースティック・ベース・ギター用標準弦のゲージ：

Warwick Alienアコースティック・ベース・ギター

4-stringモデル：
Warwickブラック・ラベル・アコースティック・ベース・ギター弦／ミディアム・スケール用：.045" .065" .085" .105" (36200 MS 4)

5-stringモデル：
Warwickブラック・ラベル・アコースティック・ベース・ギター弦／ロング・スケール用： .045" .065" .085" .105" .135 (36301 LOS 5)

RockBass Alienアコースティック・ベース・ギター

4-Stringモデル：
Warwickレッド・ラベル・アコースティック・ベース・ギター弦／ミディアム・スケール用：.045" .065" .085" .105" (35200 MS 4)

5-Stringモデル：
Warwickレッド・ラベル・アコースティック・ベース・ギター弦／ロング・スケール用： .045" .065" .085" .105" .135 (35301 LOS 5)

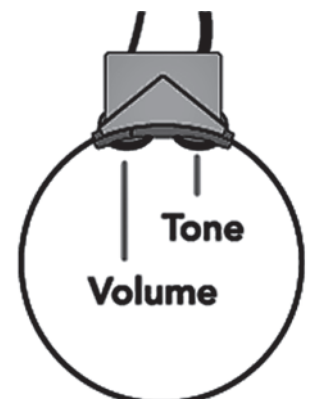
5) ピエゾ・ピックアップ／全モデルの電気系

すべてのAlienアコースティック・ベース・ギターには、Fishmanのトランスデューサー・システムが採用されています。当社のピエゾ・セラミック・ピックアップは、アメリカの有名なメーカーであるFishman社との緊密な協力によって製造されています。詳しくはウェブサイトwww.fishman.comあるいはwww.warwick.deをご覧ください。

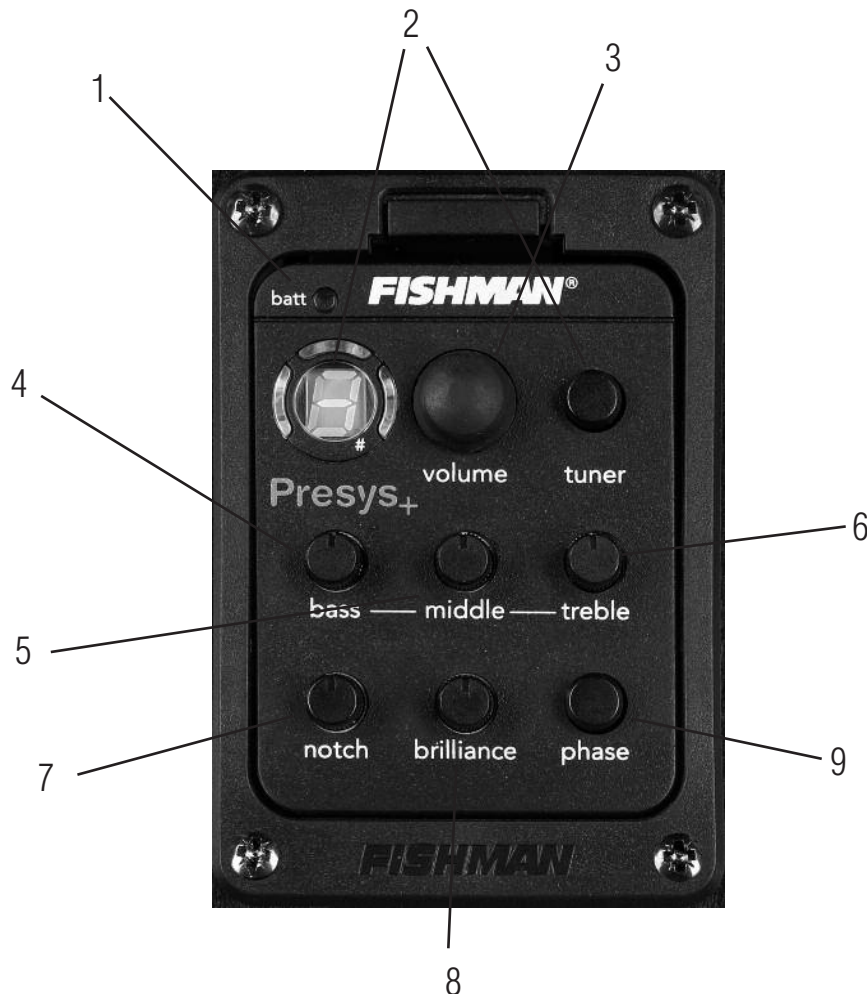
使用上の注意：
バッテリーの寿命を最大限に利用するために、演奏しない時にはケーブルを楽器の出力ジャックから抜くようにしてください。

コントロール部は、サウンドホールの縁に取り付けられています。

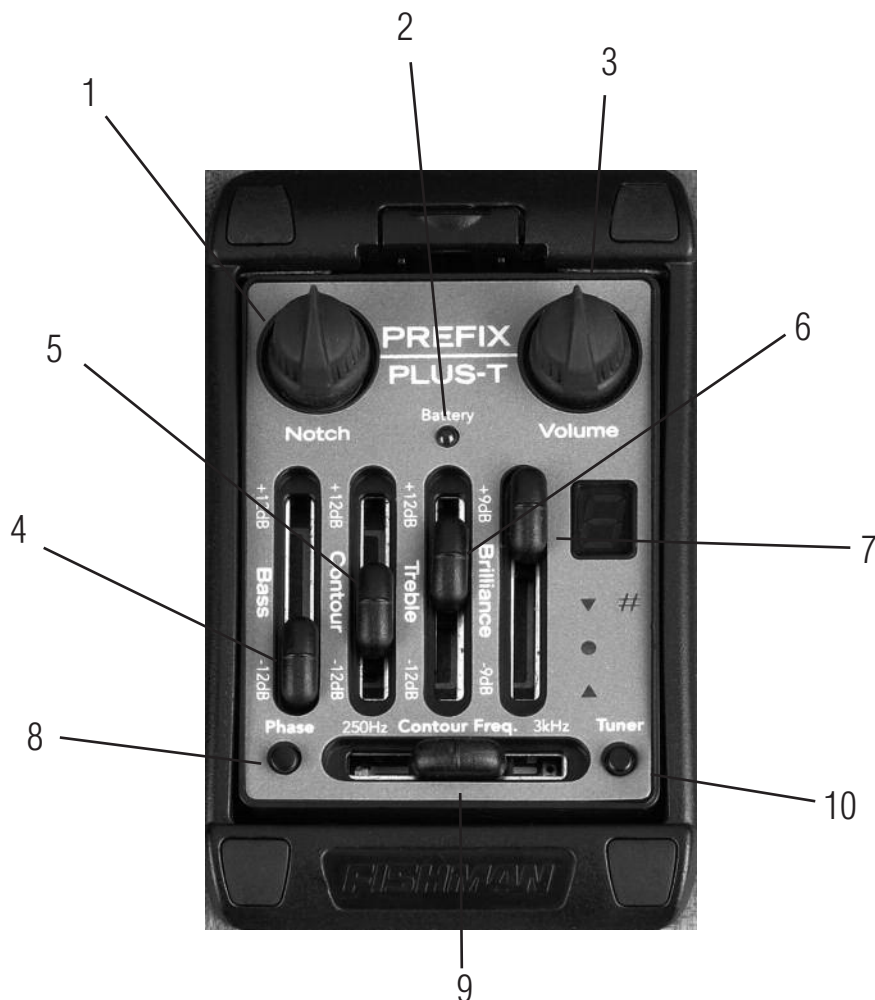
1）ボリューム：全体の音量を調節します。
2）トーン：高音域をカットする量を調節します。

RockBass Alien Standardアコースティック・ベース・ギター
ピックアップ：**Fishman Sonicore**ピエゾ・タイプ
プリアンプ：**Fishman Sonitone**

RockBass Alien Deluxeアコースティック・ベース・ギター

ピックアップ：Fishman Sonicoreピエゾ・タイプ
プリアンプ：Fishman Presys+™

1）バッテリー電圧低下警告インジケーター
2）チューナー：プリアンプにはクロマチック・チューナーも内蔵されています。ディスプレイには弾いた音の音程が表示されます。左側の赤いライトは音程が低すぎる時、中央の緑のライトは音程が正しい時、右側の赤いライトは音程が高すぎる時に、それぞれ点灯します。チューナーがオンになっている時には、楽器の出力がミュートされます。チューナーがオフの時には、信号がトゥルー・バイパス・モードで出力されます。
3）ボリューム：全体の音量を調節します。
4）ベース：低音をブーストまたはカットします。
5）ミドル：中音域の音をブーストまたはカットします。
6）トレブル：高音をブーストまたはカットします。
7）ノッチ・フィルター：フィードバックや望ましくない共振を抑えるための、ゲイン固定で周波数ポイント連続可変のフィルターです。ノブを反時計方向に回しきると、実質上フィルターをオフにしたのと同じ状態になります。
8）ブリリアンス：レゾナント・タイプのブースト／カット・フィルターで、音の存在感を加えたい時に使用します。
9）フェイズ・スウィッチ：フェイズ・スウィッチは、楽器本体の音とスピーカーから出た音の位相のずれを補正します。また、このスウィッチは小音量時にはトーン・フィルターとして、大音量時にはフィードバック抑制用としても使えます。さらに、フェイズ・スウィッチはピエゾ・システムと外部マイクの位相の違いも全て補正できます。耳で音を確かめながらフェイズ・スウィッチを何度か切り替えて、最適な設定を探ってみてください。スウィッチの最適な設定は、サウンド・システムや会場の音響によっても変わります。

Warwick Alienアコースティック・ベース・ギター

ピックアップ：Fishman Acoustic Matrix
プリアンプ：Fishman Prefix Plus-T

1）ノッチ・フィルター：フィードバックや望ましくない共振を抑えるための、ゲイン固定で周波数ポイント連続可変のフィルターです。周波数ポイントの可変範囲は40〜500Hzです。ノブを反時計方向に回しきると、実質上フィルターをオフにしたのと同じ状態になります。
2）バッテリー電圧低下警告インジケーター
3）ボリューム：Prefix Plus-Tの全体の音量を調節します。
4）ベース：低音をブーストまたはカットします。
5）コントゥアー（Contour）：可変幅を広く取ったセミ・パラメトリック・フィルターで、楽器のトーンを細かく調節することができます。コントゥアー・スライダーは、選択したポイントの周波数をブーストまたはカットする量を調節します。コントゥアー・フリケンシー・スライダーは、コントゥアー・スライダーでブーストまたはカットする周波数のポイントを設定します。周波数ポイントは250Hz〜3kHzまで連続可変です。
6）トレブル：高音をブーストまたはカットします。
7）ブリリアンス：レゾナント・タイプのブースト／カット・フィルターで、音の存在感を加えたい時に使用します。
8）フェイズ・スウィッチ：フェイズ・スウィッチは、楽器本体の音とスピーカーから出た音の位相のずれを補正します。また、このスウィッチは小音量時にはトーン・フィルターとして、大音量時にはフィードバック抑制用としても使えます。さらに、フェイズ・スウィッチはPrefix(TM)システムと外部マイクの位相の違いも全て補正できます。耳で音を確かめながらフェイズ・スウィッチを何度か切り替えて、最適な設定を探ってみてください。スウィッチの最適な設定は、サウンド・システムや会場の音響によっても変わります。
9）コントゥアー・フリケンシー（Contour Freq）：中音域の音が耳障りだと感じた時には、このコントゥアー・フリケンシー・スライダーを中央よりもわずかに高音域寄りにセットして、好みのサウンドが得られるまでコントゥアー・スライダーを中央のクリックからカット側に調節します。ちなみに、ベースおよびトレブルのスライダーをブーストすることによって、800Hz付近をカットしたのと同様の効果が得られます。
10）チューナー：プリアンプにはクロマチック・チューナーも内蔵されています。ディスプレイには弾いた音の音程が表示されます。ディスプレイの下にあるLEDは、音程が低すぎる時（下の赤色LED）、高すぎる時（上の赤色LED）、あるいは正しい音程の時（中央の緑色LED）にそれぞれ点灯します。チューナーがオンになっている時には、楽器の出力がミュートされます。チューナーがオフの時には、信号がトゥルー・バイパス・モードで出力されます。

6) ボディ、ネックおよび指板の手入れについて

ボディの手入れについてのアドバイス

サテン仕上げ（**Warwick Alien**）：
木目が見えて表面に凹凸のある艶消しで無色の塗膜は、サテン仕上げの最大の特徴です。木地を密封したこの手の仕上げは、とくに手入れをする必要はありません。表面が汚れた場合には、湿らせた布か、あるいは研磨剤を使用していないスプレー式のクリーナーできれいにしてください。

ポリッシング・クロス (SP W 50017)

ビーズワックス (SP W 50015)

ハイ・ポリッシュ仕上げ（**RockBass Standard**および**Deluxe**）：
ハイ・ポリッシュ仕上げには、光沢のあるラッカーが使用されています。木地は塗料で完全に密封され、表面は木目の凹凸が感じられないほど滑らかな、ガラスのような平面に磨き上げられています。外観の手入れについてはサテン仕上げと同様、必要なのは外観に関する手入れだけです。汚れは湿った布か、適切なスプレー式のクリーナーで落とします。あるいは、適切なポリッシュを使用すれば、軽微な引っかき傷や使用痕を消して元の輝きを取り戻すこともできます。

ネックの手入れについてのアドバイス

Alienアコースティック・ベース・ギターのすべてのネックはサテン仕上げで密封されています。木地を密封したこの手の仕上げは、とくに手入れをする必要はありません。表面が汚れた場合には、湿らせた布か、あるいは研磨剤を使用していないスプレー式のクリーナーできれいにしてください。

指板の手入れについてのアドバイス

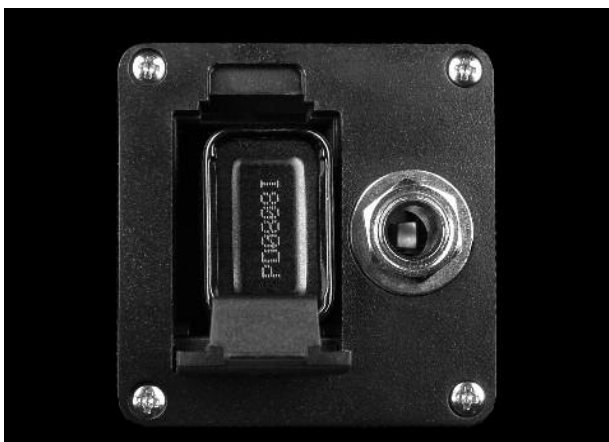
Alienアコースティック・ベース・ギターの指板は塗装されていないので、表面が荒れたり劣化したりしないように、定期的な手入れが必要です。指板の清掃や保護には、専門店で販売している専用の製品をお使いください。目的の効果を得るために、製品の取り扱い説明書をよくお読みください。
指板の手入れには、Warwick社製のビーズワックスもご使用いただけます。ポリッシング・クロスで円を描くようにしてビーズワックスを塗布し、2、3分置いてから乾いたポリッシング・クロスで余分なワックスを拭き取ってください。ビーズワックスの塗布は少なくとも年に2回は行うようにしてください。楽器の使用頻度が高ければ、より頻繁に塗布することをお勧めします。ビーズワックスでのお手入れを欠かさなければ、長年にわたって楽器の美しい外観を維持することができます。演奏が終わったら、乾いたポリッシング・クロスでネックと指板をきれいに拭くようにしてください。

7) バッテリー・ボックスへのアクセス

ピエゾ・ピックアップ・システムは1個の9Vバッテリーで動作しています。バッテリーの交換は、以下の方法でバッテリー・ボックスにアクセスして行ってください。

Warwick Alienおよび**Rockbass Alien Deluxe**の場合：

プリアンプ部は指の爪で簡単に持ち上げることができます。バッテリーは、所定の位置に固定されるまでしっかりと押し込んでください。極性をお間違えなく！

RockBass Alien Standardの場合：

バッテリー・ボックスは出力ジャックのすぐ横にあります。ボックスの蓋は指の爪で簡単に開けることができます。バッテリーを挿入して蓋を閉めます。極性をお間違えなく！

8) セキュリティ・ロック

すべてのWarwickおよびRockBass Alienアコースティック・ベース・ギターには、Warwickセキュリティ・ロックが付属しています。Warwick AlienおよびRockBass Alien Deluxeには、出力ジャックと一体になったストラップ・ピンが採用されており、これは交換できません。ストラップ・ロック・ピンを取り付けられるのは、木ねじをねじ込むのに必要な木の厚みのあるネック・ジョイント部だけです（図参照）。ボディ・サイドにセキュリティ・ロック・ピンを取り付けないでください。

組み立て方：

外側にネジの切ってあるパーツをストラップの穴に通します

ストラップの反対側からワッシャーを通します。

ナットをねじ込み、レンチで締めます。

ストラップ・ロック・ピンを取り付けられるのは、木ねじを支えるのに十分な強度のあるネック・ジョイント部だけです。取り付ける前に、太さ2mmのドリルで穴を空けておいてください。

セキュリティ・ロックのボタンを押すとラッチが外れ、ストラップの付け外しができます。

9) ユーザー・キット（Warwick Alienアコースティック・ベース・ギターのみ）

楽器には、Warwickユーザー・キットが付属しています。内容は以下の通りです：

- トラスロッド調整工具
- Warwickポリッシュ・クロス
- 保証書

10) 保障 / カスタマー・サービス

Warwick社製のすべての楽器には、2年間限定の保証が付いています。

お手数ですが、Warwickユーザー登録の手続きを行ってください。手続きのページは、当社ウェブサイトの“サポート”のメニューからアクセスしていただけます。

製品に不良があった場合は、最寄りの正規ディーラーにお問い合わせください。

新たにご購入いただきましたWarwickベースを楽しくお使いいただけるよう、願っております。

さらに詳しいことがお知りになりたい時には、ご遠慮なく私どもにご連絡ください。
メール：info@warwick.deまたはservice@warwick.de

製品の仕様は、予告なしに変更される場合があります。

Warwick社ウェブサイト：
www.warwick.de, www.warwickbass.com

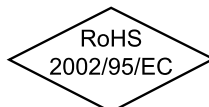
Warwick製品のウェブ・カタログ：
www.warwick.de/catalog

Warwickニュースレター購読のご登録：
www.warwick.de/modules/support/newsletter_resister.php?katID=17116&cl=DE

Warwickフォーラム：
www.warwick.de/forum

Warwickウェブショップ：
http://shop.warwick.de/

This recycling logo informs the end user that it is forbidden to throw away the product in the trash. It has to be disposed of accordingly.

Weee-Nr.: DE93670540

Please see the new Warwick Bass Forum on www.warwick.de
For support information please refer to support@warwick.de

Visite por favor el nuevo forum Warwick de bajo en www.warwick.de
Para soporte técnico e información, dirigirse por favor a support@warwick.de

Por favor veja o novo Fórum de Baixos da Warwick em HYPERLINK www.warwick.de
Para mais informações escreva para HYPERLINK support@warwick.de

Visitare il nuovo Forum Warwick Bass: www.warwick.de
Per supporto tecnico: support@warwick.de

Veuillez consulter le nouveau forum sur les basses Warwick à l'adresse www.warwick.de
Si vous avez besoin de plus d'informations contactez support@warwick.de

Das Warwick Bass Forum finden Sie auf www.warwick.de
Bei technischen Fragen wenden Sie sich bitte an support@warwick.de

ワーウィック・ウェブサイトへお越しください。HYPERLINK "http://www.warwick.de"
リニューアルしたワーウィックベースフォーラムをご覧下さい。
サポート情報などは HYPERLINK "mailto:support@warwick.de" へお寄せください。

请登陆 HYPERLINK "http://www warwick de" 浏览握威贝司全新论坛
有任何问题 请发邮件至 HYPERLINK "mailto:support@warwick.de"

Nové Warwick Bass Forum najdete na webových stránkách: HYPERLINK "http://www.warwick.de www.warwick.de
Máte-li nějaké technické dotazy, pište na: support@warwick.de

Headquarters:	Warwick GmbH&Co.Music Equipment KG • Gewerbepark 46 • 08258 Markneukirchen/Germany • E-Mail: info@warwick.de
Branch China:	Warwick Music Equipment (Shanghai) Ltd., Co.• Zhao Jia Bang Road No 108, 3rd Floor • 200020 Lu Wan District/Shanghai/P.R.China • E-Mail: info@warwick.cn
Branch Switzerland:	Warwick Music Equipment Trading (Zurich) GmbH • Kriesbachstrasse 30 • 8600 Dübendorf / Switzerland • E-Mail: info@warwick.ch
Branch CZ/SK:	Warwick Music Equipment Trading (Praha CZ) s.r.o. • Spálená 23/93 • 11000 Praha 1 / Czech Republic • E-Mail: info@warwick.cz
Branch Poland:	Warwick Music Equipment Trading (Warsaw) Sp. z o.o. • Flory 7/18a • 00-586 Warsaw / Poland • E-Mail: info@warwick.pl
Branch UK/ Ireland:	Warwick Music Equipment Trading (Hailsham UK) Ltd. • "Cortlandt" George Street • East Sussex BN27 1AE / Great Britain • E-Mail: info@warwickbass.co.uk
Branch USA:	Warwick Music Equipment Trading (New York USA) Inc. • 76-80 East 7th Street • New York, NY 10003 USA • E-Mail: info@warwickbass.com

Visit us on the World Wide Web: http://www.warwick.de, www.warwickbass.com & join us in WARWICK BASS FORUM: www.warwick.de/forum